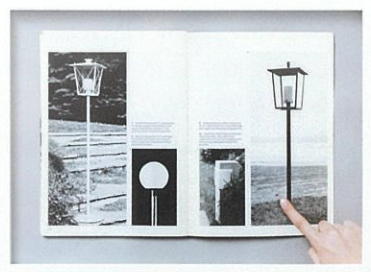


# 写真新世紀展

## 2017

写真表現の可能性に挑戦する  
新人写真家の発掘・育成・支援を目的とするフォトコンテスト  
第40回公募受賞作品展



(左上から下に) 喰田 佳南子「ほんの小さな 優しいこと」／溝淵 亜依「ID」／Giancarlo Shibayama「I traveled on an island」／  
澤田 華「Gesture of Rally #1705」／Trond Ansten & Benjamin Breitkopf「17 toner hvitt」／  
214「The collection of encounters」／山口 梓沙「じいちゃんとわたし」

NEW COSMOS OF PHOTOGRAPHY 2017

10/21 Sat. — 11/19 Sun.

入場無料

東京都写真美術館 地下1階展示室

【開館時間】10:00～18:00(木・金曜は20:00まで) ※入館は閉館時間の30分前まで 【休館日】毎週月曜日

東京都写真美術館 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL 03-3280-0099

主催=キャノン株式会社 共催=東京都写真美術館

Canon



写真で何ができるだろう？  
写真でしかできないことはなんだろう？

第40回公募 受賞作品展

「写真新世紀」は、写真表現の可能性に挑戦する新人写真家の発掘・育成・支援を目的として、キャノンが1991年にスタートした文化支援プロジェクトです。

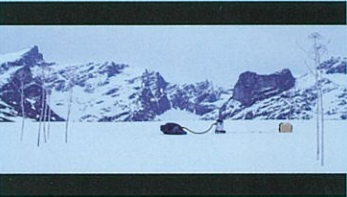
銀塩・デジタル写真を問わず、自由で独創的な写真表現を応援しており、国内外で活躍する優秀な写真家を多数輩出するなど新人写真家登竜門として広く認知されています。これまでの応募者総数は27,406名(組)となっております。

「写真新世紀」は2015年度を機に、撮影機器の進化に合わせた静止画・動画を含むデジタル作品の応募も開始しました。ジャンルを問わない新しい視点による作品、作家の創作活動を支援出来るよう、応募システムを整え、グローバルに募集を行い、この試みに、今年は1,705名の方がチャレンジされました。アレック・ソス氏、サンドラ・フィリップス氏、ダヤニータ・シン氏、上田 義彦氏を新たに審査員としてお迎えし、さわ ひらき氏、澤田 知子氏、清水 穰氏の審査員

優秀賞受賞者 ※五十音順敬称略



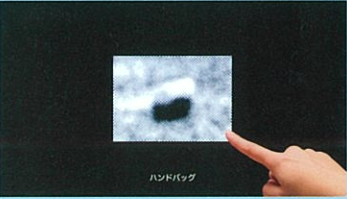
アレック・ソス 選  
Giancarlo Shibayama  
「I traveled on an island」



さわ ひらき 選  
Trond Ansten & Benjamin Breittkopf  
「17 toner hvitt」



ダヤニータ・シン 選  
214  
「The collection of encounters」



サンドラ・フィリップス 選  
澤田 華  
「Gesture of Rally #1705」

佳作受賞者

大塚 敬太「numbering」(さわ ひらき 選)／賀来 庭辰「for grandfather, grandfather for」(サンドラ・フィリップス 選)／金 仙永「Atopos」(上田 義彦 選)／鈴川 洋平「Apocalyptic Sounds」(アレック・ソス 選)／野口 舞「ミッドエアーサーフィン」(清水 穰 選)／黄 煌智「生の裁」(サンドラ・フィリップス 選)／松本 明「Fig.」(アレック・ソス、ダヤニータ・シン 選)／宮下 五郎「WINDOWS」(清水 穰 選)／山本 浩平「New horizon」(ダヤニータ・シン 選)／湯本 浩貴「新呼吸」(上田 義彦 選)／王 華「BOX of DREAMS」(さわ ひらき 選)

審査員 ※左から

アレック・ソス(写真家)／サンドラ・フィリップス(サンフランシスコ MOMA キュレーター)／ダヤニータ・シン(アーティスト)／上田 義彦(写真家)／さわ ひらき(美術家)／澤田 知子(アーティスト)／清水 穰(写真評論家)

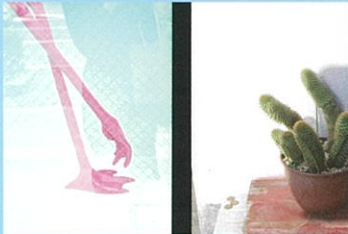
7名がそれぞれ優秀賞を1名ずつ、そして佳作を選出しました。「写真新世紀展 2017」では、それら受賞作品をご紹介します。

11月10日(金)には、グランプリ選出公開審査会を開催し、優秀賞受賞者の中から本年度のグランプリ受賞者が1名、審査員の合意の下、選出される予定です。グランプリ受賞者には、賞金100万円とキャノンカメラ製品50万円相当が贈られます。

また展覧会では、2016年度グランプリを受賞した金サジ氏の新作個展を同時開催する他、開催初日の10月21日(土)には、優秀賞・佳作(受賞者)、金氏によるアーティスト・トークも開催します。

そして、11月11日(土)、関連イベントとして 審査員によるポートフォリオ・レビューを開催します。来場者が持参したポートフォリオや作品を審査員に対面で見てもらえる貴重な会となっております。また、さわ ひらき氏による映像レクチャーや上田 義彦氏による写真レクチャーも開催する予定です。

この機会に才能溢れる若手写真家たちの現代を見つめる斬新な眼差しと写真表現の新たな可能性に触れて頂ければと思います。



上田 義彦 選  
喰田 佳南子  
「ほんの小さな 優しいこと」



澤田 知子 選  
溝渕 亜依  
「ID」



清水 穰 選  
山口 梓沙  
「じいちゃんとわたし」

10/21 Sat.

アーティスト・トーク

優秀賞受賞者、佳作受賞者、  
2016年度グランプリ受賞者・  
金 サジ氏が、自身の展示作品について、制作意図の解説を行います。



参加 無料

申込 不要

日時 2017年10月21日(土)  
第一部 14:30～15:30  
第二部 16:00～17:30

会場 東京都写真美術館 地下1階展示室  
入場無料(どなたでもお気軽にご参加ください)

内容 第一部 2017年度佳作受賞者による作品紹介と制作意図の説明  
第二部 2017年度優秀賞受賞者と2016年度グランプリ受賞者・金 サジ氏による作品のプレゼンテーションを行います。

11/10 Fri.

グランプリ選出公開審査会、表彰式

優秀賞受賞者7組がご自身の作品についてプレゼンテーションを行い、審査員7名の審議により本年度のグランプリを選出します。

日時 2017年11月10日(金)  
審査会 15:00～17:00  
審査員審議 17:10～17:40  
表彰式 17:40～18:00  
受賞祝賀会 18:00～19:30

会場 東京都写真美術館 1階ホール他

定員 180名  
入場無料、要事前予約

申込方法 以下のとおりメールにて、お申込みください。  
メールの表題に「グランプリ選出公開審査会への参加希望」と明記し、住所、氏名、参加人数(2名様まで可)を明記してください。

送信先

cast@web.canon.co.jp「写真新世紀公開審査会申込センター」へ送信してください。  
なお2名様で参加希望の方はその方の氏名もご記入ください。  
(個人情報の取扱いについては写真新世紀ホームページにてご確認ください)

受付期間

10月3日(火)より受付を開始し、満席になり次第終了します。  
(満席のお知らせは本ホームページにて行います)

当選結果

返信メールにてご連絡します。当日はその通知メールをプリントアウトの上、お越しください。  
(入場時に確認させていただきます)

※グランプリ受賞者には、奨励金として100万円、副賞のデジタル一眼レフカメラのほか、特典として次年度の受賞作品展における個展開催の権利などが授与されます。  
※公開審査会終了後、17:45頃から佳作・優秀賞の表彰、グランプリの発表・表彰を行う表彰式の他、祝賀会も開催します。



11/11 Sat.

ポートフォリオ・レビュー

参加者にお持ちこみいただいた作品を、審査員、学芸員の方々がお一人15分程度講評する対面式のポートフォリオ・レビューです。

日時 2017年11月11日(土)  
14:00～17:00

会場 東京都写真美術館 1階スタジオ

定員 先着36名

入場料 無料

レビューアー 2017年度審査員、他を予定しています。



参加 無料

11/12 Sun.

映像レクチャー

審査員を務める美術家さわ ひらき氏に新作をご紹介いただきながら、映像／表現、その可能性について考察していただきます。

日時 2017年11月12日(日)  
15:30～17:00

会場 東京都写真美術館 1階スタジオ

定員 先着50名

入場料 無料

講演 さわ ひらき(美術家)



参加 無料

11/16 Thu.

写真レクチャー

審査員 上田 義彦氏による写真レクチャー。  
人々の心を捕える魅力溢れる作品の数々。  
写真制作の現場に迫ります。

日時 2017年11月16日(木)  
18:00～19:30

会場 東京都写真美術館 1階スタジオ

定員 先着50名

入場 無料

講演 上田 義彦(写真家)





〔同時開催〕写真新世紀2016年度グランプリ受賞者

金サジ 新作個展「物語」シリーズより

# 満月の夜、男は墓を建て、

# 女はぼつくりを食べる



私の身体に先祖の体験してきた記憶が残っているのではないかと感じる場合があります。  
様々な民族の伝承(歌、舞、語りなど)を体験したときに、デジャブのような感覚を覚えることが多いからです。  
そういった記憶とも思える不思議な感覚と、今まで生きてきた私の確かと思える記憶が重なった時に、  
ひとつの物語が現れてきます。私はこの物語に向き合う事で、  
自分にとっての「故郷」とは何なのかを考え続けています。 — 金 サジ

10/21 Sat. - 11/19 Sun.

〔会場〕東京都写真美術館 地下1階展示室

〔開館時間〕10:00~18:00(木・金は20:00まで) 〔休館日〕毎週月曜日

入場無料

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 [www.topmuseum.jp](http://www.topmuseum.jp)

TOP MUSEUM



JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分  
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分  
専用の駐車場はございません。  
お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。